



## 2025年度 入学始業礼拝式次第

2025年4月13日 (日) 午後3時

司 式 チャプレン 司祭 眞野 玄範 チャプレン  
司 会 教頭 勝見 昌浩

○ 聖 歌 540番(入堂)

○ 聖 語

司式者 主はその聖なる宮にいます

一 同 全地はそのみ前に沈黙せよ

司式者 あなたの若い日にあなたの造り主をおぼえよ

一 同 主は牧者であってわたしは乏しいことがない

司式者 栄光は父と子と聖霊に

一 同 初めのように、今も世々に限りなく アーメン

○詩 篇 34編

司式者 わたしは常に主をたたえ // 絶えず賛美を口にする

一 同 わたしの心は主をたたえ // 貧しい人もそれを聞いて喜ぶ

司式者 心を合わせて主をあがめ // とともにみ名をたたえよう

一 同 わたしが主を求めると、神はこたえられ // すべての恐れから助けてくださった

司式者 神を仰げば人の顔は輝き // 恥を受けることはない

一 同 苦しむ者が主に叫ぶと、神は聞き // 悩みの中から救い出してくださった

司式者 神を畏れる人の周りには、主のみ使いは陣を敷き // 彼らを助け出してくださる

栄光は父と子と聖霊に

一 同 初めのように、今も世々に限りなく アーメン

○ 主の祈り 天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

○ 聖 書 コロサイの信徒への手紙 3章 12～17節 (H3-2 松岡 理成)

あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。

- 校歌斉唱
- 式 辞
- 新入生歓迎
- 祝 辞

立教英国学院 校長 岡野 透

立教英国学院 理事長 杉山 順一

- 新任教員紹介
- 立教英国学院特祷

真理と愛の源であり、すべての人の造り主、万民の父である全能の神よ。わたしたちが常に正しい理想(ねがい)を失うことなく、知恵と一致を得るのは、ただあなたの恵みにほかにありません。どうか、み名によって建てられた立教英国学院を見守り、その全ての行いを祝福し、導きのみ手を差しのべ、ますます学院の徳を確かなものとし、常に変わることのない、主の栄光を輝かすことができますように。また、教える者と学ぶ者とを祝福し、共に知識を深め、主の真理と愛とを悟らせ、常に謙遜の心を抱いて、唯一の父である主を仰ぎ、互いにいたわり、互いに励まし合うことが出来ますように。み子、わたしたちの救い主イエス・キリストによってお願いいたします。

- 祈祷・祝祷
- 聖 歌 532番(退 堂)

#### 【今週の誕生日】

4月13日		奥野 卓也
4月14日	M1	恩田 光
	H3-2	梅原 大輝
4月15日		島村 正和
4月17日	M3	近内 栞理

#### 校 歌 作 詞 縣 康

- 東雲さむる丘の上 春の光のみつるとき  
信もて集う若人が 呼ぶや希望と愛のうた
- マロニエ並木落葉して 梢に高き北斗星  
真理の門を叩けやと ささやく如くまたたきぬ
- ここ南英の学び舎に 愛の訓えの帯をしめ  
もろ国人を友として 行くべき道を究めなん
- 世界の平和成らんとき 栄光とわにあれかしと  
ともにたたえんわが母校 立教英国学院を

#### 入堂聖歌 540

- やさしき息吹の くしき恵み  
おろかなわれをも 招き入れる
- ゆるしの恵みを 頼みとして  
恐れつつわれは 抱かれゆく

#### 退堂聖歌 532

- エルサレムの町の 羊の門 ベトザタの池には 病む人びと  
天使は舞い降り 羽にて水を 静かに打つとき 病 去る  
池の水がうごく その時には われ先にと走り 癒しを待つ
- 池のほとりに主は 今たたずみ 病み苦しむ人に 語りかける  
「起き上がりなさい 床を担いで」 癒しの言葉に 包まれて  
長い病の日々 すべて終わり その身は癒されて 歩み進む
- 救いの火を灯し 人を愛し われらの罪を負い 十字架につく  
イエスはよみがえり 永遠の命を この世に示して 死を砕く  
おのれに生きる日々 今 打ち捨て イエスの示す道を 絶えず歩む
- 恵みの神こそ われを守る  
命ある限り 主は わが盾
- 危うき誘いを はらいのけて  
神の み住まいへ いざなわれる
- 日の照り輝く 時はめぐり  
神へのほめ歌 永遠にひびく